

平成20年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1 . 会計処理の特徴	1
2 . 償還準備金積立方式のしくみ	2
3 . 収支状況	3
4 . 営業中道路の収支状況	5
5 . 財務状況	6
6 . 償還準備金の積立状況	8
7 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8 . 供用実績	10
9 . 長期借入金の残高状況	12
10 . 償還計画と実績の対比	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、一般に公正妥当と認められている企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

<根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。

毎年度の『収支差』(収入と費用の差)は全て投下資金(借入金)の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人なので、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。

新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式ではなく、むしろ、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要です。

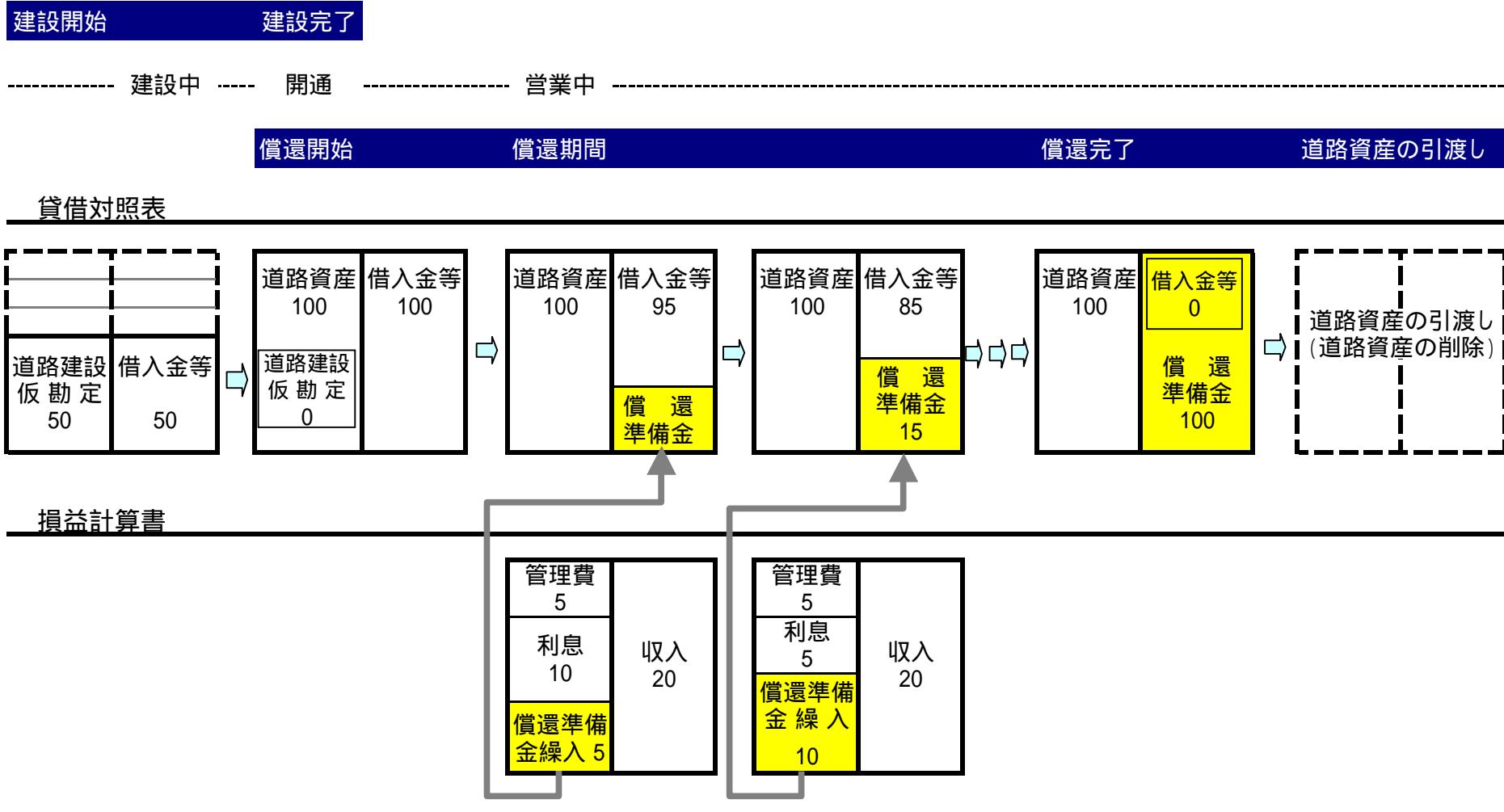
償還準備金積立方式を採用

借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。

道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



3. 収支状況

平成20事業年度損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	H20年度	H19年度	増減額	勘定科目	H20年度	H19年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
経常費用	51,354	51,146	208	経常収益	51,401	51,192	209
事業資産管理費	9,631	9,432	199	業務収入	50,600	50,882	282
福岡高速道路管理費	6,055	5,575	480	道路料金収入	49,842	50,202	360
北九州高速道路管理費	3,478	3,756	278	(福岡高速道路)	34,665	34,014	651
駐車場管理費	98	101	3	(北九州高速道路)	15,177	16,188	1,011
一般管理費	1,088	1,115	27	ETCマイル-シ還元負担金収入	425	346	79
一般管理費	921	973	52	(福岡高速道路)	424	346	78
その他	167	142	25	(北九州高速道路)	1	0	1
引当金等繰入	28,510	28,683	173	駐車場料金収入	213	207	6
道路事業損失補填引当金繰入	2,374	2,391	17	その他	120	128	8
(福岡高速道路)	1,651	1,620	31	受託業務収入	487	183	304
(北九州高速道路)	723	771	48	負担金事業受入金	9	1	8
償還準備金繰入	26,136	26,292	156	業務外収益	304	126	178
(福岡高速道路)	19,620	19,383	237	受取利息	33	60	27
(北九州高速道路)	6,516	6,910	394	その他	271	65	206
受託業務費	487	183	304				
負担金事業費	9	1	8				
業務外費用	11,629	11,732	103				
債券利息	6,194	5,964	230				
借入金利息	5,179	5,502	323				
その他	256	266	10				
当期利益金	47	46	1				
合計	51,401	51,192	209	合計	51,401	51,192	209

各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(1) 福岡高速道路

経常収益は、351億9,000万円（対前年比6億9,200万円の増）となりました。これは前年度の料金収入が過去に販売しました回数券による通行の影響によりまして、利用交通量に比べ低い料金収入なっていたことによるものです。

一方、経常費用（償還準備金繰入を除く）は、155億7,000万円（対前年比4億5,400万円の増）となりました。これは主に、課税仕入れ（完了工事）の減少に伴う納付消費税の増加によるものです。他の管理費では、コスト削減や金利の低下などにより一般管理費や支払利息が減少しています。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、196億2,000万円（対前年比2億3,700万円の増）となっており、道路の建設に投下した借入金の返済に充当されています。

(2) 北九州高速道路

経常収益は、155億円（対前年度比7億9,500万円の減）となりました。これは主に、利用交通量の減少であります。業務外収益では消費税還付により增收となっています。

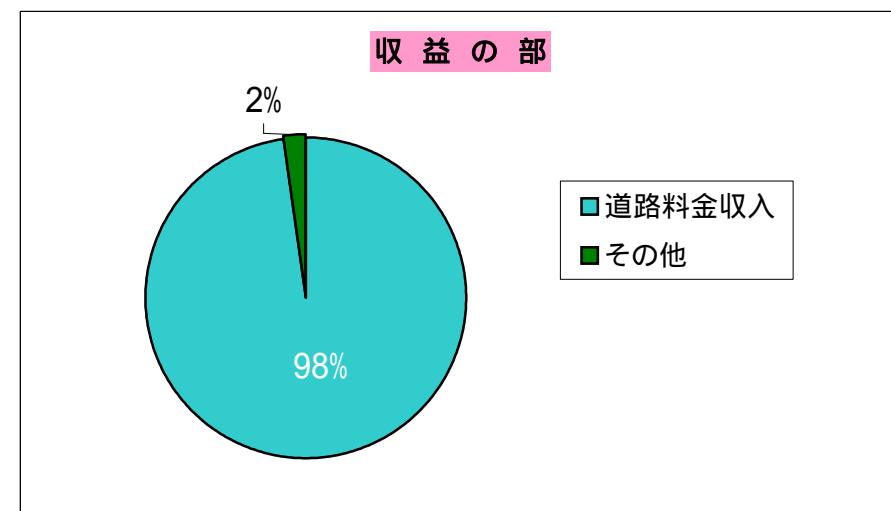
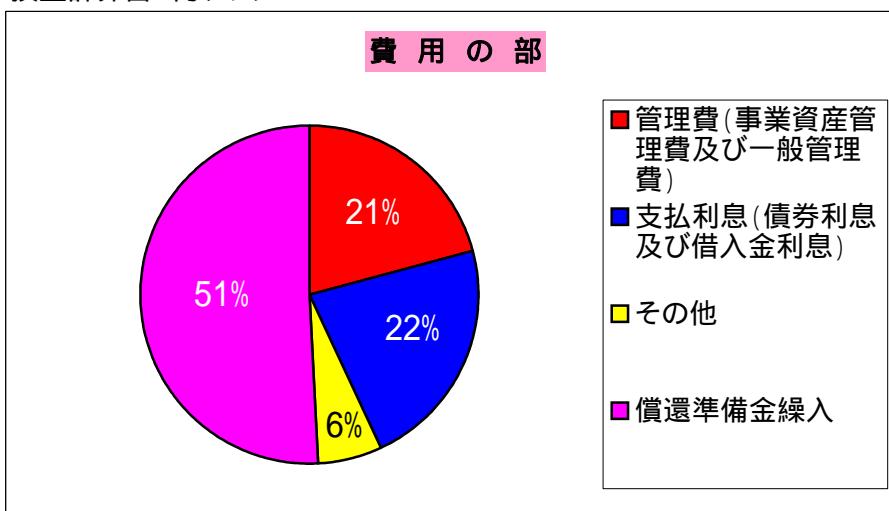
一方、経常費用（償還準備金繰入を除く）は、89億8,400万円（対前年比4億円の減）となりました。これは主に、課税仕入れ（完了工事）の増加や料金収入の減少に伴い納付消費税が発生しなかったこと、そのほか支払利息や損失補てん引当金の減少によるものです。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、65億1,600万円（対前年比3億9,400万円の減）となり、これにより本年度より累積欠損金（マイナスの償還準備金）が解消され、償還準備金として15億9,800万円計上しました。

(3) 駐車場事業

当期利益は4,700万円（対前年比100万円の増）となりました。

損益計算書 円グラフ



4. 営業中道路の収支状況

【福岡高速道路】

△	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100円
		事業資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H20	35,190	6,055	553	7,311	1,651	15,570	19,620	44.2円
H19	34,498	5,575	586	7,335	1,620	15,116	19,383	43.8円

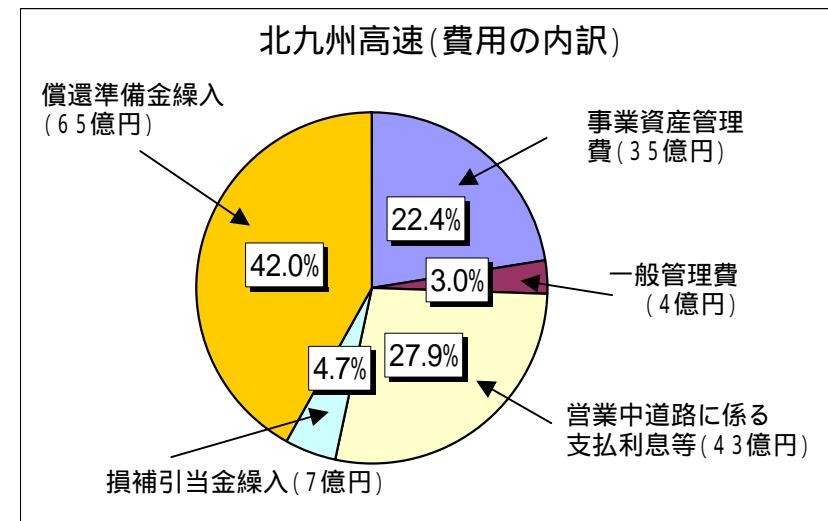
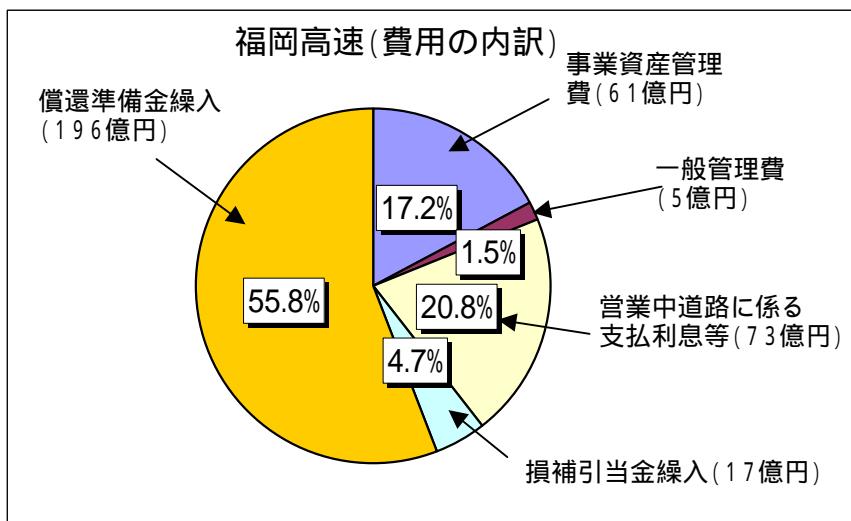
【北九州高速道路】

△	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100円
		事業資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H20	15,500	3,478	465	4,318	723	8,984	6,516	58.0円
H19	16,295	3,756	461	4,396	771	9,384	6,910	57.6円

・「償還準備金繰入」は、営業中路線から生じる毎期の収支差を高速道路の建設に投下した借入金の返済に充てるもので「償還準備金」に繰り入れられるもの。

・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(注)各項目について四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



5. 財務状況

平成20事業年度貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

資産の部				負債及び資本の部			
勘定科目	H20年度	H19年度	増減額	勘定科目	H20年度	H19年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
流動資産	14,635	10,374	4,261	流動負債	88,538	11,300	77,238
固定資産	1,218,563	1,195,509	23,054	固定負債	754,834	838,532	83,698
事業資産	1,189,680	1,135,466	54,214	福岡北九州高速道路債券	316,711	336,471	19,760
福岡高速道路	815,555	770,704	44,851	長期借入金	429,721	493,519	63,798
北九州高速道路	374,125	364,762	9,363	退職給与引当金	1,320	1,508	188
事業資産建設仮勘定	25,823	57,332	31,509	ETCマイレージ引当金	193	145	48
福岡高速道路	25,823	57,332	31,509	資産見返交付金	6,889	6,889	0
北九州高速道路	0	0	0	特別法上の引当金等	175,433	146,923	28,510
有形固定資産	2,517	2,528	11	道路事業損失補填引当金	37,077	34,704	2,373
その他	543	182	361	福岡高速道路	22,442	20,792	1,650
				北九州高速道路	14,635	13,912	723
繰延資産	1,159	1,111	48	償還準備金	138,356	112,219	26,136
				福岡高速道路	136,758	117,137	19,620
				北九州高速道路	1,598	4,918	6,516
				(負債合計)	1,018,805	996,755	22,050
				基本金	214,882	209,616	5,266
				剰余金	670	623	47
				(資本合計)	215,552	210,239	5,313
資産合計	1,234,357	1,206,994	27,363	負債・資本合計	1,234,357	1,206,994	27,363

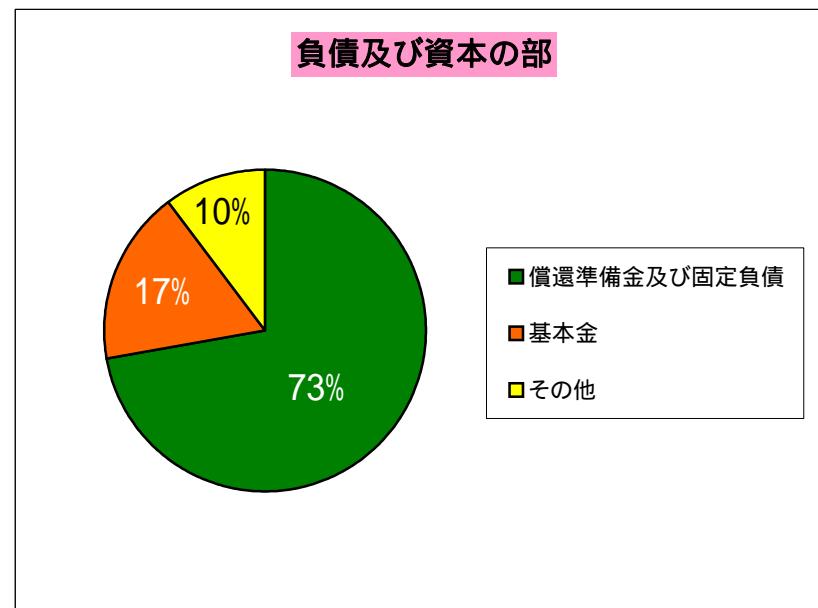
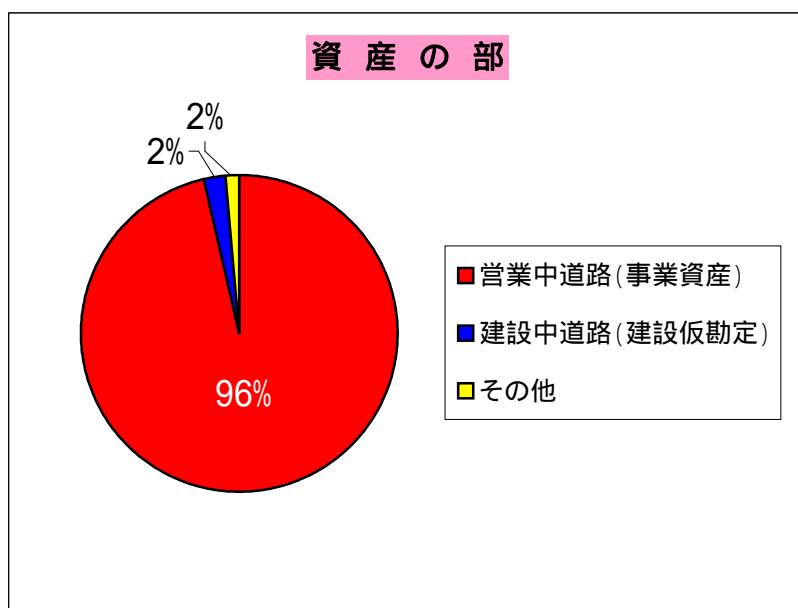
各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

資産の総額は、1兆2,343億5,700万円となりました。このうちお客様に利用していただいている営業中の道路資産は1兆1,896億8,000万円、工事中道路の道路資産は258億2,300万円です。この合計額は、1兆2,155億300万円で全体の98%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,343億5,700万円となりました。主なものは、道路債券などの借入金が8,197億4,700万円（流動負債計上分733億1,500万円と固定負債計上分7,464億3,200万円の合計額）、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額（償還準備金）が1,383億5,600万円（福岡高速1,367億5,800万円、北九州高速15億9,800万円）、地方公共団体からの出資金が2,148億8,200万円です。



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)				
	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H20	813,242	136,758	676,484	16.8%
H19	768,391	117,137	651,254	15.2%

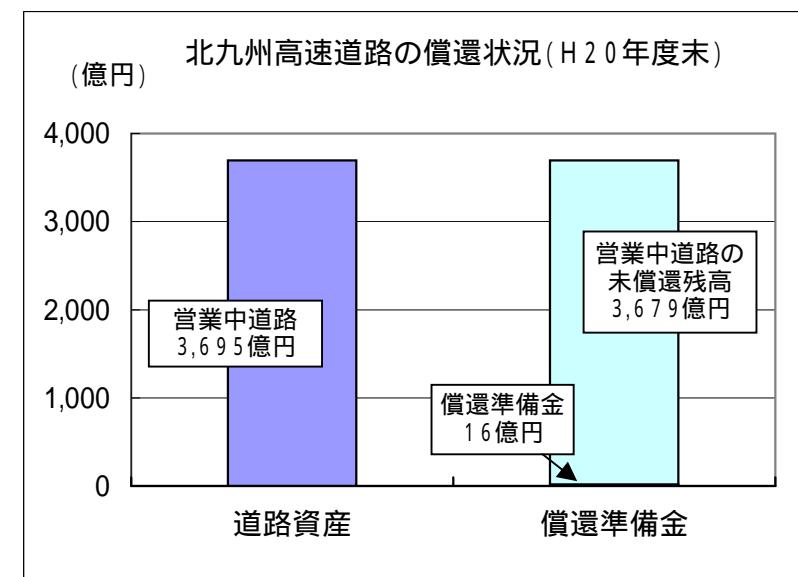
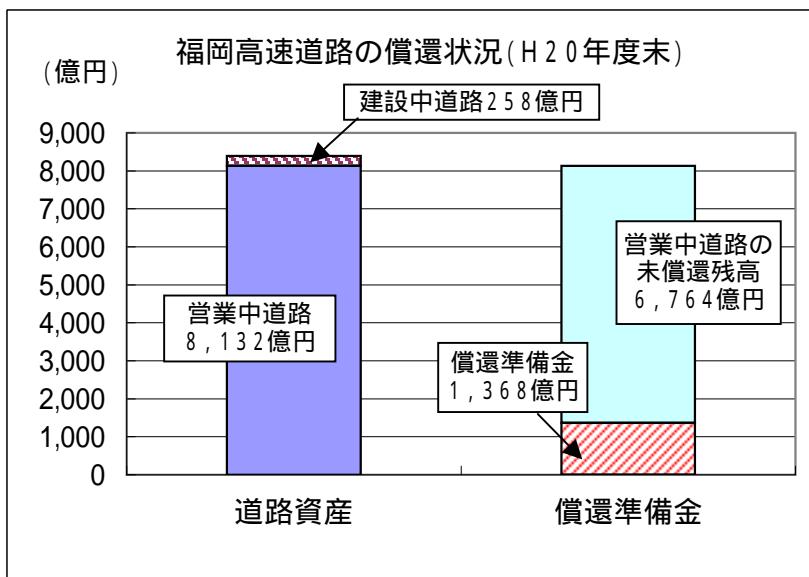
【北九州高速道路】

(単位:百万円)				
	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H20	369,549	1,598	367,951	0.4%
H19	360,186	-4,918	365,104	-1.4%

「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。
「償還準備金」とは、平成20年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)				
	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備 考
福岡高速道路	815,555	2,313	813,242	この他に、工事中道路の資産総額(道路建設仮勘定): 25,823
北九州高速道路	374,125	4,576	369,549	



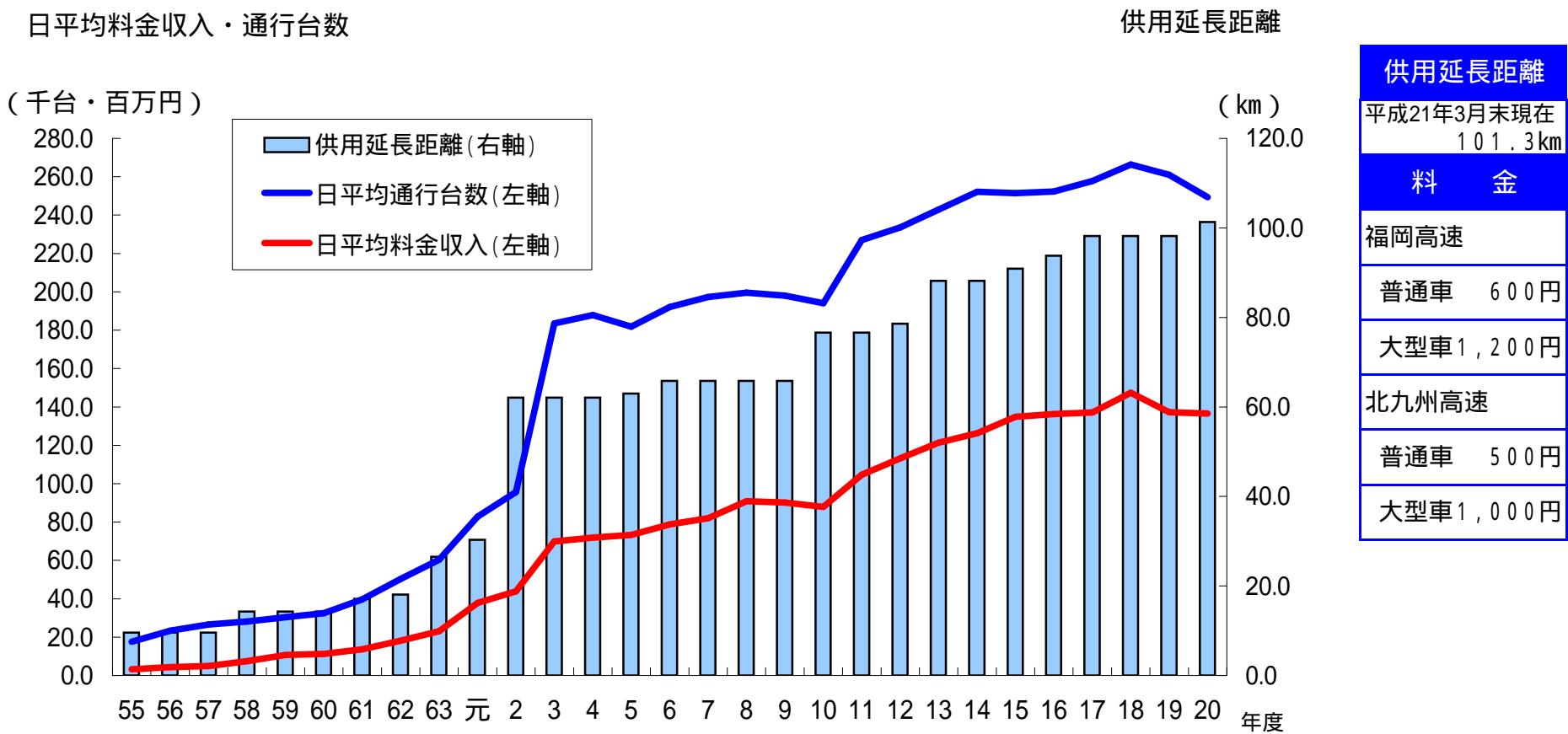
7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成20年度

料金収入 499億円

日平均料金収入 1.4億円

日平均通行台数 24.9万台



8. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3.27	-	5.9	貝塚入口		
	S58. 6.30	-	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58.10. 6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4.23	0.8	8.2	千鳥橋JCT～呉服町		
四次供用	S62.11. 6	1.0	9.2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63.10.31	2.1	11.3	天神北～西公園		
				千鳥橋JCT(渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5.2	16.5	西公園～百道	1,000	500
				呉服町～榎田		
				豊JCT～空港通		
	H 1.10. 1	-	16.5	料金改定	1,030	510
	H 2.12.25	-	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3.21	-	16.5	東浜西出口		
	H 4. 4.23	-	16.5	名島出入口		
	H 4. 7. 1	-	16.5	東浜西入口		
七次供用	H 5. 4. 2	0.9	17.4	香椎東～香椎		
八次供用	H 6. 4. 4	2.8	20.2	榎田～月隈北	1,100	550
	H 9. 6. 1	-	20.2	料金改定(回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3.27	10.8	31.0	月隈～水城		
				貝塚JCT～粕屋		
	H12. 3.28	-	31.0	料金改定・貝塚入口		
十次供用	H12.11.21	0.5	31.5	貝塚JCT(渡り線)	1,200	600
十一 次供用	H13.10.13	5.3	36.8	百道～福重		
十二 次供用	H14. 3.10	1.9	38.7	粕屋～福岡IC		
	H15. 5. 1	-	38.7	料金改定		
十三 次供用	H15. 5. 1	2.7	41.4	月隈JCT～板付	1,200	600
十四 次供用	H16. 6.27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五 次供用	H18. 3.26	4.4	48.7	野多目～堤(ETC運用4.1～)		
十六 次供用	H20. 4.19	3.1	51.8	堤～野芥		

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

[北九州高速道路]

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	3.7	3.7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58.10. 6	3.2	6.9	篠崎北～若園	700	350
				東港出入口		
	S59. 4.21	-	6.9	篠崎南出口		
三次供用	S61.12. 2	2.0	8.9	若園～横代	700	350
				篠崎南入口		
四次供用	S63.12.17	1.1	10.0	愛宕 J C T ～下到津		
五次供用	H 1. 8.30	2.8	12.8	日明～戸畠	720	360
六次供用	H 2. 3.31	1.0	13.8	戸畠～若戸		
				東港 J C T ～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H 3. 3.31	31.8	45.6	春日～馬場山 一部区間料金 (4 号線)	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H 5. 4. 1	-	45.6	料金改定	720	360
	H 7. 9.30	-	45.6	山路出入口	900	450
	H 9. 6. 1	-	45.6	料金改定 (回数通行券料金)		
八次供用	H12. 7.26	1.5	47.1	長野～横代	1,000	500
	H12.11. 1	-	47.1	料金改定		
九次供用	H13. 7. 2	2.4	49.5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2.26	-	49.5	小倉東 IC 接続		
	H20.11. 1	-	49.5	E T C 運用開始		
備 考	九州縦貫自動車道八幡 IC と北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17.3.31 供用) 九州縦貫自動車道八幡 IC と北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18.3.4 供用)					

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

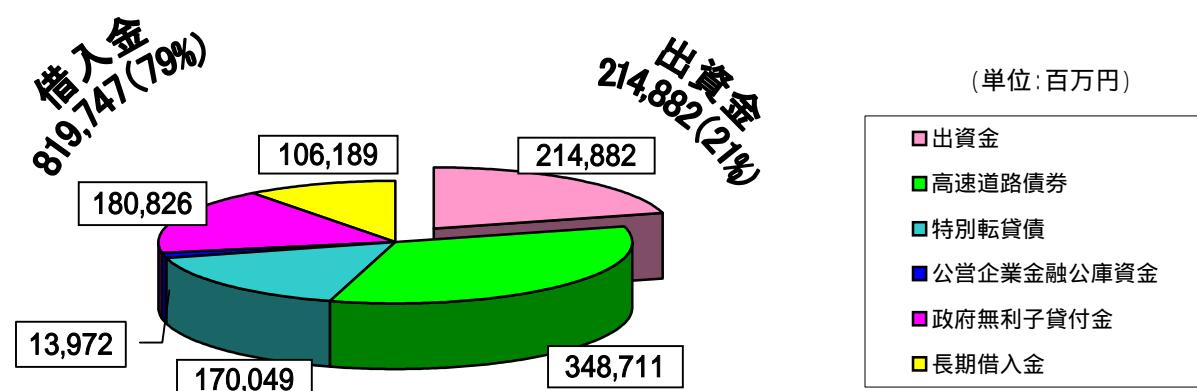
9. 長期借入金の残高状況

平成20年度未借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳					
				福岡高速			北九州高速		
	H20年度	H19年度	増減額	H20年度	H19年度	増減額	H20年度	H19年度	増減額
	A	B	A - B	A	B	A - B	A	B	A - B
借入金	設立団体出資金	214,882	209,616	5,266	157,386	154,247	3,139	57,496	55,369
	高速道路債券	348,711	336,471	12,240	211,108	206,692	4,415	137,603	129,779
	特別転貸債	170,049	177,288	7,240	127,503	132,862	5,359	42,546	44,427
	公営企業金融公庫資金	13,972	14,576	604	11,258	11,728	470	2,714	2,848
	政府無利子貸付金	180,826	186,165	5,339	138,129	143,170	5,041	42,697	42,995
	長期借入金	106,189	115,489	9,300	35,000	39,500	4,500	71,189	75,989
合計		819,747	829,990	10,242	522,998	533,952	10,954	296,749	296,037
									712
									2,839

(注)各項目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。



10. 償還計画と実績の対比

福岡北九州高速道路の償還計画の達成状況を分かりやすく示すため、収入や費用、収支率や償還率等について実績(平成20年度決算)と計画の比較を行った。

福岡高速の実績については、収入が計画を下回っているが、管理費等の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回った。この結果、償還準備金繰入及び償還準備金は計画を達成することができた。

北九州高速の実績については、収入が計画を下回っているが、管理費の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回った。この結果、償還準備金繰入及び償還準備金は計画を達成することができた。

今後とも採算性を確保するため、利用促進とともに建設や管理の経費縮減に努めてまいりたい。

【平成20年度決算】

(単位:億円)

道路名	収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a - b)	償還準備金	事業資産	償還率(%)	
		管理費	損失補填	金利	合計					
合 計	実績	507	106	24	116	246	261	1,384	11,897	12%
	計画	534	117	25	138	280	254	1,376	11,893	12%
福岡高速	実績	352	66	17	73	156	196	1,368	8,156	17%
	計画	374	70	17	94	182	192	1,363	8,151	17%
北九州高速	実績	155	39	7	43	90	65	16	3,741	0%
	計画	160	46	8	44	98	62	13	3,741	0%

四捨五入の関係で計が合わないことがある。

償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は料金認可(平成20年3月)、北九州は料金認可(平成20年10月)の値を使用しました。実績(平成20年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、ETCマイレージ還元負担金収入、ETCマイレージ引当金繰入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減し、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金繰入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。また、納付(還付)消費税については、実績値に変換しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。
- ・事業資産は、計画作成時の実績に供用年度に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除しました。

損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っています。その残高は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成20年度末で371億円であり、毎年増加しています。